

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習時間数	6 時間
講習の名称	【選択】第二言語習得論に基づく、中学校における英語4技能の効果的指導について	講習形態	講義、演習 (遠隔授業)
開設者	長崎大学	定員	30名
開設日/時間	令和3年8月22日(日) /8:55~16:30	会場	インターネットを受信できる場所(職場もしくは自宅など)
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校(英語) 教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 小笠原 真司(言語教育研究センター) / Eメールアドレス: ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / TEL: 095-819-2094			
担当教員(分担担当者等)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 第二言語習得研究の成果を基に、様々な教授法の背景にある理論を学ぶ。また様々な教授法の長所や短所を理解し、実際の授業に教授法の持つ長所をどのように生かせるかを考察する。中学校の英語指導において、communicative な活動とstructure-centered の指導、および4技能のバランスの取れた授業展開の方法を学ぶ。  講習方法: 午前中は講義を中心に行う。午後は、午前中の講義内容に基づき、実際の指導を演習形式で行う。なお、午後の最後に、30分の筆記試験を行う。講義資料等はこちらで準備し、配布する。  講習到達目標: 最新の第二言語習得理論を学び、様々な教授法の長所を理解し、それらを取り入れて英語4技能のバランスのとれた授業を組み立てることができるようになる。			
講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード 講習内容(概要) 言語習得論の概要を説明し、英語教授法の歴史における様々な教授法の位置づけを学びます。教授法の持つ意味あいやその理論的背景を講義します。その知見に基づいて、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングのバランスのとれた授業実践を提示し、実際にペアーワークやグループワークを通して体験します。そして、実践的なコミュニケーション活動を英語指導にどのように生かすかを受講者の先生方と考察します。  講習計画・内容			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:55~9:00	小笠原 真司
	【講義】最近の第二言語習得研究と教授法について (小休憩20分を含む)	9:00~12:00	小笠原 真司
	昼休憩 (50分)	12:00~12:50	
	【講義・演習】様々な指導テクニックの紹介とコミュニケーション活動 (小休憩10分を含む)	12:50~15:50	小笠原 真司
	筆記試験	16:00~16:30	小笠原 真司
キーワード (第二言語習得理論) (教授法) (英語4技能)			
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	指定図書なし。当日、プリント資料を配付します。		
各自で準備するもの			
受講上の注意	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に実施した「【選択】中学校におけるバランスのとれた英語4技能の指導について」と同一内容を含む講習ですので、当該講習を受講した者は本講習を受講することはできません。</li> <li>視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。</li> <li>遅刻は原則として認めません。</li> </ol>		